

Franklin International

製品安全データシート

薬品名 : Titebond Original Wood Glue

1. 化学物質等及び会社情報

住所 : Franklin International
2020 Bruck Street
Columbus OH 43207

Contact person : Franklin Technical Services

Telephone : (800) 877-4583

緊急電話番号 : Franklin Security
(614) 445-1300

参照番号 : 2213

製品コード : 5062

改訂版の日付 : 4/23/2009.

印刷日 : 9/20/2010.

Chemtrec (24 Hour) : (800) 424 - 9300

Chemtrec International : (703) 527 - 3887

元素族 : 接着剤。

2. 危険有害性の要約

物理的状态 : 液体。

OSHA/HCS 許認可 : This material is considered hazardous by the OSHA Hazard Communication Standard (29 CFR 1910.1200).

非常事態の概要 : 注意!
目および皮膚に炎症を引き起こすことがある。動物データによると、標的器官に障害を与えることがある。
眼に対する軽度の刺激性がある。皮膚に軽度の刺激性。蒸気や噴霧の吸入を避ける。眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。動物データによると、標的器官に障害を与えることがある。取扱い後は、十分に洗浄する。

侵入経路 : 眼への接触。吸入。摂取。

健康への急性効果の可能性

吸入した場合 : 高温のオイルミストまたは蒸気を吸入すると、呼吸器の炎症を引き起こすことがある。重大な作用や危険有害性は知られていない。

飲み込んだ場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

皮膚 : 皮膚に軽度の刺激性。長期間あるいは繰り返して接触すると、皮膚を乾燥させ、炎症、ひびわれ、及び皮膚炎を引き起こすことがある。

眼 : 眼に対する軽度の刺激性がある。本品は、接触すると眼を刺激することがある。

健康への慢性効果の可能性

慢性作用 : 動物データによると、標的器官に障害を与えることがある。

発がん性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

変異原性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

催奇性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

発育への影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

生殖能力に対する影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

標的器官 : 次に挙げる器官に傷害を引き起こすことがある：皮膚、目。

過剰暴露の徴候/症状

吸入した場合 : 明確なデータは無い。

2. 危険有害性の要約

- 飲み込んだ場合** : 明確なデータは無い。
- 皮膚** : 有害症状には以下の症状が含まれる:
刺激
発赤
- 眼** : 有害症状には以下の症状が含まれる:
刺激
流涙
発赤
- 過剰暴露による容態悪化** : この製品に過剰に暴露すると、このMSDSの中でリスクがあるとして挙げられているあらゆる標的器官に関係した疾患が悪化することがある。

有害性情報を参照(セクション11)

3. 組成及び成分情報

提供者の現在の知識の範囲および該当する濃度では、本製品の成分の中には健康または環境に対して有害危険性であると分類されるためこのセクションで報告が義務づけられている成分は含まれていません。

4. 応急措置

- 眼に入った場合** : コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。直ちに多量の水で、時々両まぶたを広げながら、15分以上洗眼する。直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚に接触した場合** : 接触した場合、直ちに汚染された衣服および靴を脱ぐと同時に多量の水で皮膚を15分以上洗浄する。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。直ちに医師の診断を受ける。
- 吸入した場合** : 暴露した被災者を新鮮な空気のある場所へ移動させる。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。直ちに医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合** : 水で口を洗浄する。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。直ちに医師の診断を受ける。
- 応急処置者の保護** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。
- 医師への注記事項** : 特定の治療法はない。症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

- 製品の引火性** : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。
- 消化媒体**
- 適切** : 火災に応じた消化剤を使用する。
- 不適切** : 認知済みのものは無し。
- 暴露による特定の危険有害性** : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 消防士用の特殊保護具** : 消防士は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具(SCBA)を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

- 個人保護** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護用具を着用する。適切な個人保護用具を使用すること(セクション8を参照)。
- 環境に対する注意事項** : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。
- 少量流出** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。不活性物質で吸い取る。

6. 漏出時の措置

- 大量流出** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。放出現場には風上から近づいてはならない。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。本製品がこぼれたら、砂、土、パーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(セクション13を参照)。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。漏出物を吸い取った吸収剤は、漏出した製品と同じ危険性を引き起こすことがある。注意: 接触時の情報はセクション1を、廃棄処理はセクション13を参照して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い** : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。摂取してはならない。眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。蒸気や噴霧の吸入を避ける。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品の残留物が残存して有害危険性がある。容器を再利用してはならない。
- 保管** : 現地法に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を防ぎ、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保存する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

カナダ

職業暴露限界		TWA (8時間)			STEL (15分)			Ceiling			
成分	リスト名	ppm	mg/m ³	その他	ppm	mg/m ³	その他	ppm	mg/m ³	その他	Notations
確認済み曝露限界値はない。											

管轄当局に許容暴露限度を問い合わせして下さい。

- 推奨されるモニター措置** : 当製品が暴露限界を有する物質を含む場合、個人、作業場の空気、あるいは生物学的なモニタリングを行い、換気等の管理手段の有効性、および呼吸器保護具を使用する必要性、あるいはそのいずれかを明らかにする必要がある。
- 技術的手段** : 特別な換気設備は必要ない。全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。もしこの製品が暴露限界を有する成分を含有する場合は、工程の密閉、工程ごとの排気設備、あるいはその他の工程管理対策を用いて作業者の空気中の汚染物質への暴露を、推奨あるいは規制された限界以下に保つこと。
- 衛生措置** : 化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙およびトイレの使用前および作業時間の最後に、必ず手、前腕および顔を洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。
- 個人保護**
- 呼吸器系** : リスク評価により必要性が示されたときは、承認された基準に合格した、身体に良く合った空気清浄機能付きまたは給気式の呼吸保護具を使用する。使用する呼吸保護具は、既知もしくは予測される暴露量、製品の危険有害性、選択される呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択しなければならない。
- 手** : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学用品性で不浸透性の手袋を常に着用する。
- 眼** : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミストあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。
- 皮膚** : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
- 環境暴露管理** : 換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	: 液体。
引火点	: 密閉式: 該当せず。
色	: 黄色。
pH	: 3.5 ~ 4.5
沸点/液化点	: 98.889° C (210° F)
比重	: 1.1
揮発性	: 54.1% (w/w)
蒸発速度	: <1 (酢酸ブチル。= 1)
TO BE TRANSLATED	: 10.7 g/l
分散性	: 以下の物質に分散性: 冷水 および 温水。

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 製品は安定である。
危険な反応の可能性	: 通常の貯蔵および使用条件下で、有害な反応は起こらない。
危険有害性重合	: 通常の保管および使用条件の下では、有害な重合は起こらない。
避けるべき条件	: 明確なデータは無い。
回避すべき物質	: 明確なデータは無い。
危険混合性	: 次の物質と反応性あるいは危険配合性: 酸 および アルカリ。
危険有害性分解物質	: 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

米国

急性毒性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

慢性毒性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

刺激性/腐食性

結論/要約

皮膚	: 長期間あるいは繰り返して接触すると、皮膚を乾燥させ、炎症、ひびわれ、及び皮膚炎を引き起こすことがある。
眼	: 本品は、接触すると眼を刺激することがある。
呼吸器系	: 高温のオイルミストまたは蒸気を吸入すると、呼吸器の炎症を引き起こすことがある。

感光性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

発がん性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

変異原性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

催奇性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

生殖毒性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

カナダ

急性毒性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

11. 有害性情報

慢性毒性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

刺激性/腐食性

結論/要約

- 皮膚** : 長期間あるいは繰り返して接触すると、皮膚を乾燥させ、炎症、ひびわれ、及び皮膚炎を引き起こすことがある。
- 眼** : 本品は、接触すると眼を刺激することがある。
- 呼吸器系** : 高温のオイルミストまたは蒸気を吸入すると、呼吸器の炎症を引き起こすことがある。

感光薬

重大な作用や危険有害性は知られていない。

発がん性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

変異原性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

催奇性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

生殖毒性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

メキシコ

急性毒性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

慢性毒性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

刺激性/腐食性

結論/要約

- 皮膚** : 長期間あるいは繰り返して接触すると、皮膚を乾燥させ、炎症、ひびわれ、及び皮膚炎を引き起こすことがある。
- 眼** : 本品は、接触すると眼を刺激することがある。
- 呼吸器系** : 高温のオイルミストまたは蒸気を吸入すると、呼吸器の炎症を引き起こすことがある。

感光薬

重大な作用や危険有害性は知られていない。

発がん性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

変異原性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

催奇性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

生殖毒性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

12. 環境影響情報

環境作用 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

米国

水中毒性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

生物分解性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

カナダ

12. 環境影響情報

水中毒性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

生物分解性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

メキシコ

水中毒性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

生物分解性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

その他の悪影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

廃棄は、地方自治体、国、州の法規及び条例に従って処理しなくてはなりません。

より詳細な取扱い情報および従業員の保護に関しては、セクション7: 取扱いおよび保管と、セクション8: 暴露管理および個人保護装備を参照のこと。

14. 輸送上の注意

適用法令	国連番号	輸送固有名	クラス	PG*	ラベル	追加情報
DOT分類	規定なし。	-	-	-		-
TDG分類	規定なし。	-	-	-		-
メキシコの分類	規定なし。	-	-	-		-
ADR/RID クラス	規定なし。	-	-	-		-
IMDGクラス	Not regulated.	-	-	-		-
IATA-DGR クラス	Not regulated.	-	-	-		-

PG*: パッキンググループ

15. 適用法令

米国

HCS分類

: 刺激性物質
標的器官作用

米国連邦規定

: 米国インベントリー(TSCA 8b)(有害物質規制法 8b): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

SARA 302/304/311/312極めて危険有害性の高い物質: 製品が見つかりません。

SARA 302/304緊急時対策および注意事項: 製品が見つかりません。

SARA 302/304/311/312危険有害性化学物質: 製品が見つかりません。

SARA 311/312 MSDS配布 - 化学物質一覧表 - 危険性の要約: 製品が見つかりません。

DEA List I Chemicals (Precursor Chemicals)

: リストに記載されていない

DEA List II Chemicals (Essential Chemicals)

: リストに記載されていない

15. 適用法令

- 州政府規定** : マサチューセッツ州流出報告要件: 記載された成分なし。
 マサチューセッツ州物質報告要件: 記載された成分なし。
 ニュージャージー州危険有害物質: 記載された成分なし。
 ニュージャージー州流出報告要件: 記載された成分なし。
 ニュージャージー州毒物災害防止条例: 記載された成分なし。
 ペンシルベニア州RTK危険有害物質: 記載された成分なし。

カナダ

- WHMIS (カナダ)** : WHMIS (カナダ)では規制されていない。
カナダリスト : CEPA(カナダ環境保護法)毒性物質: 記載された成分なし。
 カナダARET: 記載された成分なし。
 カナダNPRI: 記載された成分なし。
 アルバータ州指定物質: 記載された成分なし。
 オンタリオ州指定物質: 記載された成分なし。
 ケベック州指定物質: 記載された成分なし。
カナダインベントリー : 未確定。

This product has been classified in accordance with the hazard criteria of the Controlled Products Regulations and the MSDS contains all the information required by the Controlled Products Regulations.

メキシコ

- 分類** :



国際規格

- 国際リスト** : オーストラリア化学物質インベントリー(AICS): 未確定。
 中国インベントリー(IEGSC)(中国既存化学物質インベントリー): 未確定。
 日本インベントリー(ENCS)(既存及び新規化学物質): 未確定。
 日本インベントリー((ISHL): 未確定。
 韓国インベントリー(KECI)(韓国既存化学物質インベントリー): 未確定。
 ニュージーランドの化学物質目録(NZIoC): 未確定。
 フィリピンインベントリー(PICCS)(フィリピン化学品および化学物質インベントリー): 未確定。
化学兵器禁止条約リストスケジュール I 化学物質 : リストに記載されていない
化学兵器禁止条約リストスケジュール II 化学物質 : リストに記載されていない
化学兵器禁止条約リストスケジュール III 化学物質 : リストに記載されていない

16. その他の情報

- ラベルに関する規定** : 目および皮膚に炎症を引き起こすことがある。動物データによると、標的器官に障害を与えることがある。
有害危険性物質情報システム (米国) :

保健	*	1
引火性		1
身体的危険性		0

注: HMIS®(危険有害性情報システム)等級は、0(危険性は最小限)~4(かなり高い危険性)の4等級に基づくもので、29 CFR 1910.1200のMSDS要件ではありませんが、作成者によっては提出を求められることがあります。HMIS®等級は、HMIS®プログラムが完全に実施されるときに使用されます。HMIS®は、National Paint & Coatings Association (NPCA)(塗料塗装業協会)の商標です。HMIS®の材料は、J. J. Keller (800) 327-6868が独占的に販売しています。

当製品に関しては、お客様の責任においてPPE(個人保護装置)コードを決定してください。

- 印刷日** : 9/20/2010.
発行日 : 4/23/2009.

16. その他の情報

前作成日 : 1/15/2009.

バージョン : 1

前バージョンから変更された情報を指摘する。

読者への注意事項

我々の知る限りにおいて、ここに記載した情報は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。あらゆる物質の適合性は、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。